

第45回番組審議会の審議結果について

1. 開催年月日 平成31年2月26日（火）11時～

2. 開催場所 (株)ケーブルメディア四国 会議室

3. 出席委員 (5名 出席)

灘波 順一 委員長
加藤 昭彦 副委員長
北川 つき子 委員
合田 恵梨子 委員
古竹 孝一 委員

4. 会社側出席者 藤網 郁夫 (取締役社長)
岡渕 篤志 (放送部長)
大平 江里子 (放送部編成制作課長)
中村 祐麻 (放送部)

5. 審議結果

(1) 議案の自主制作番組 ①美術番組 「美術館からの招待状」 ②地域紹介番組 「行ってみ四い国」について担当者より番組制作の意図などを説明した後、番組を視聴して頂いた。各委員からの主な意見は次のとおり。

<主な意見>

①美術番組 「美術館からの招待状」

- 14分があっという間に感じる良い番組で、とても勉強になり知的な時間を過ごせた。
- 学芸員の作品説明やテロップがわかりやすかった。
- 学芸員の説明からナレーションへの切り替えのバランスが良く、美しい日本語で表現できていた。
- 漆作品が綺麗に撮れていて良かった。
- 全体的に良くできているので、シリーズ化して記録として残して欲しい。
- 漆作品の制作シーンを入れて、制作工程を見せてほしかった。
- 漆作品を見せすぎているのではないかと感じた。番組で満足してしまい美術館に足を運ばなくなるのではないか。
- 美術館の敷居を低くし、気軽に美術館へ足を運べるような雰囲気演出してほしい。
- 讃岐漆芸の三技法を紹介したうえで、音丸耕堂の「彫漆」を紹介した方がわかりやすかった。
- 音丸先生を知るプロの漆芸家にインタビューし、音丸先生の人的エピソードを入れると、もっと内容に深みが出る。
- ミニコーナーのテロップがPOPになりすぎていた。内容も香合についてだったので、同じ格調高い感じでも良かった。

②地域紹介番組 「行ってみ四い国（よいくに）」

- 東かがわ市の手袋産業から派生した革小物製品の魅力・レベルの高さを14分という時間の中で分かりやすく紹介できていた。もっと地元でも知られていないような情報が加われば、さらに良い番組になる。
- 職人さんやお店の方の緊張をほぐすよう、讃岐弁でインタビューすれば親しみが出た。
- 菊よせ等の高い技術、革の端材を使用した小物作り教室があることを知ることができ、実際に行ってみたいと感じた。
- 革小物製品の高い技術とアットホームな革小物作り体験の対比ができていて、番組としてバランスが良かった。
- アナウンサーが番組で作成したコサージュをつけてエンディングに出演すれば、より良さをアピールできた。
- 県外の視聴者向けに発信するのであれば、地図やお店の詳細情報（費用・完成までの所要時間など）を出したほうが、安心して行ける。
- 全体的に1対1のインタビューが多いので、コサージュ作りをしている団体や実際に紹介した財布を使用している方のインタビューを入れると、その良さがもっと伝わる。

(2) 大西委員が今回で退任することとなったため、番組審議会規定「第3条2項」に基づき人選を行っており、次回の番組審議会までに選任する予定。

議案 自主制作番組①

番組タイトル	美術館からの招待状 ～音丸耕堂展－華麗なる彫漆の世界～
放送期間・番組尺	2018年10月8日～10月21日 ・ 14分番組
番組コンセプト	高松市美術館が開館30周年を迎えることなどから、地元メディアとして「市内のアートシーンを盛り上げる」、「市民にもっと美術を楽しんでもらう」ことを目的に制作しました。また、当社顧客のターゲット層（50代以上）のニーズに合致した美術情報を提供し、ターゲット層の知的好奇心を満たす上質な美術番組の制作を目指しています。
番組内容	讃岐漆芸の技法「彫漆（ちょうしつ）」の重要無形文化財保持者（人間国宝）だった音丸耕堂の作品展を紹介します。「彫漆」とはどんな技法なのか、さらに耕堂の豊富な色彩表現の秘密、作風の移り変わりなどを学芸員によって解説しています。また、作品の撮影が難しいとされる「漆作品」の美しさも堪能できる内容です。 さらに、ミニコーナー「アートのつぼ」では、美術作品を楽しむポイントを紹介しています。
出演者	高松市美術館 学芸員 橘さん
プロモーション	チャンネルガイド・HP・フェイスブック
今後の動き	初心者向けか、玄人向けにするかでそれぞれの満足度が異なるため、ターゲット層をもう少し明確にした番組作りに取り組みたいと考えています。

議案 自主制作番組②

番組タイトル	行ってみ四い国～手袋のまちから生まれた革製品の魅力～
放送期間・番組尺	2018年6月1日～6月30日 ・ 14分番組
番組コンセプト	四国四県それぞれの地域の“行ってみたくなる”ような場所・モノ・出来ごとをご紹介します。番組は各ケーブルテレビ局が月替わりで担当し、それぞれの地域の魅力を発信します。番組は各ケーブルテレビで放送されるため、県外の視聴者を意識した番組作りが必要となります。今回は、平成25年から弊社の放送エリアとなった「東かがわ市」に焦点を当てた番組を制作しました。
番組内容	<p>日本一の手袋のまちとして有名な東かがわ市。その手袋産業から派生した革製品の生産が現在全国的な注目を集めています。今回は、革手袋製造の技術を生かしたおしゃれな革小物を製造・販売している「ルボア」さんと、ズボンのポケットや小さな鞆にもすっきりと入る小さくて薄いスリムなオリジナル革財布「Ollet（オレット）」をご紹介します。</p> <p>また、羊や牛などのさまざまな革の端切れを使った革小物作りを体験できる「手袋工房」で革のコサージュ作りを体験し、東かがわ市の新たなセールスポイントとなりつつある「革製品」の魅力を視聴者にお届けします。</p>
出演者	株式会社ルボア 野口さん・てぶくろ工房 川田さん・司会 中村(CMS)
プロモーション	チャンネルガイド・HP・フェイスブック
今後の動き	放送時間の都合で、ルボアさんの財布の特徴やスリムな革財布の利点などの説明を一部削ることになりました。限られた時間の中で商品の魅力をいかに分かりやすくお伝えするかという点、また真面目一辺倒にならず所々に遊びを入れて視聴者に楽しく見てもらえるよう工夫していきたいと考えています。